

取締役候補者の指名理由

2026年6月23日開催予定の第101回定時株主総会の議案として上程する取締役選任議案に関しまして、個々の取締役候補者の指名理由は以下のとおりです。

なお、当社の取締役候補者の指名及び取締役の解任に関する方針については「コーポレート・ガバナンス基本方針」をご参照ください。

役職	氏名	理由
社外取締役 (取締役会議長)	佐々木 一郎	<p>世界的に事業を展開するメーカーの社長を務めるなど経営者としての豊富な経験を通じて、開発、製造における豊富な技術的知見を有するとともに、グローバルな視点での企業戦略及び経営全般に関する見識を有しています。また、新事業創出・商品化の経験を通じて、商品企画や品質保証のものづくり分野に関する豊富な見識を有しています。このような見識に基づき、取締役会では、当社グループの中長期的な企業価値の向上を図ることをはじめ多様な観点から有益な提言をするとともに、独立した立場から執行役等の職務の執行を監督しています。</p> <p>また、サステナビリティ委員として、当社のサステナビリティに関するテーマにおける検討等に客観的・中立的立場から関与しています。これらのことから、当社グループの持続的な成長に資する豊富な知識・経験を有するとともに、引き続き取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化への貢献が期待できるため、適任と判断しています。</p>
社外取締役	五十嵐 弘司	<p>世界的に事業を展開する食品メーカーの経営者としての経験を通じて、技術開発、生産分野における豊富な技術的知見を有するとともに、事業のグローバル展開、事業の変革及び創出、デジタル化推進及び経営全般に関する見識を有しています。このような見識に基づき、取締役会では、当社グループの中長期的な企業価値の向上を図ることをはじめ多様な観点から有益な提言をするとともに、独立した立場から執行役等の職務の執行を監督しています。また、指名委員及び報酬委員長として、当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定等に客観的・中立的立場から関与しています。</p> <p>これらのことから、当社グループの持続的な成長に資する豊富な知識・経験を有するとともに、引き続き取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化への貢献が期待できるため、適任と判断しています。</p>

役職	氏名	理由
社外取締役	武田 和彦	<p>世界的に幅広く事業を展開するコングロマリット（複合企業体）の経営幹部、及びその主要子会社の経営者としてのマネジメント経験を通じて、企業経営、事業運営・経営管理、財務・会計、情報技術分野に関する豊富な知見を有するとともに、長年にわたる欧米諸国での勤務経験に基づくグローバルな視点での企業戦略及び経営全般に関する見識を有しています。このような見識に基づき、取締役会では、当社グループの中長期的な企業価値の向上を図ることをはじめ多様な観点から有益な提言をするとともに、独立した立場から執行役等の職務の執行を監督しています。また、監査委員長として、主に執行役等の職務の執行について、客観的・中立的立場から監査しています。</p> <p>これらのことから、当社グループの持続的な成長に資する豊富な知識・経験を有するとともに、引き続き取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化への貢献が期待できるため、適任と判断しています。</p>
社外取締役	別府 理佳子	<p>国内外における弁護士としての長年の経験を通じて、高度な法律知識に基づいた幅広い見識を有するとともに、企業法務、とりわけ事業のグローバル展開や事業再編分野における専門的な知見を有しています。このような見識に基づき、取締役会では、当社グループの中長期的な企業価値の向上を図ることをはじめ多様な観点から有益な提言をするとともに、独立した立場から執行役等の職務の執行を監督しています。また、指名委員及び報酬委員として、当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定等に、客観的・中立的立場から関与しています。</p> <p>これらのことから、当社グループの持続的な成長に資する豊富な知識・経験を有するとともに、引き続き取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化への貢献が期待できるため、直接企業経営に関与した経験がないものの、上記の経験、見識及び知見から、適任と判断しています。</p>

役職	氏名	理由
社外取締役	桐山 一憲	<p>国際的大手企業の経営者としての経験を通じて、企業経営、マーケティングに関する豊富な知見を有するとともに、アジア地域の統括や米国法人における経営者としての経験に基づくグローバルな視点での企業戦略及び経営全般に関する見識を有しています。また、長年にわたる国内外での経営経験に基づく経営人材の育成に関する豊富な見識を有しています。このような見識に基づき、取締役会では、当社グループの中長期的な企業価値の向上を図ることをはじめ多様な観点から有益な提言をするとともに、独立した立場から執行役等の職務の執行を監督しています。また、サステナビリティ委員として、当社のサステナビリティに関するテーマにおける検討等に客観的・中立的立場から関与しています。加えて、監査委員として、主に執行役等の職務の執行について、客観的・中立的立場から監査しています。これらのことから、当社グループの持続的な成長に資する豊富な知識・経験を有するとともに、引き続き取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化への貢献が期待できるため、適任と判断しています。</p>
社外取締役	相楽 希美	<p>長年にわたる経済産業省での勤務経験を通じて、通商産業政策に関する幅広い見識を有するとともに、金属鉱物資源、再生可能エネルギー、情報技術、リサイクル分野における専門的な知見を有しています。また、工学修士としての技術的知見を有しています。このような見識に基づき、取締役会では、当社グループの中長期的な企業価値の向上を図ることをはじめ多様な観点から有益な提言をするとともに、独立した立場から執行役等の職務の執行を監督しています。また、サステナビリティ委員長として、当社のサステナビリティに関するテーマにおける検討等に客観的・中立的立場から関与しています。加えて、監査委員として、主に執行役等の職務の執行について、客観的・中立的立場から監査しています。これらのことから、当社グループの持続的な成長に資する豊富な知識・経験を有するとともに、引き続き取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化への貢献が期待できるため、直接企業経営に関与した経験がないものの、上記の経験、見識及び知見から、適任と判断しています。</p>

役職	氏名	理由
社外取締役	ジェイソン フランク	<p>日本の大手商社の欧州事業会社等において複数の投資案件に関与した経験及び AI・データサイエンスの活用による経営改革を推進した経験等を通じて、投資先企業の経営戦略立案、財務管理及び M&A の実行支援等に関する豊富な見識を有するとともに、企業のデータ戦略の遂行に関する専門的な知見を有しています。また、複数の業界・企業において取締役会議長兼最高財務責任者（CFO）等の役員を務めた経験に基づくグローバルな視点での企業戦略及び経営全般に関する見識を有しています。加えて、米国公認管理会計士の資格を有しています。</p> <p>これらのことから、取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化への貢献が期待できるため、適任と判断しています。</p> <p>※ CFO … Chief Financial Officer</p>
取締役 執行役社長	田中 徹也	<p>2020 年に当社の執行役常務に就任以来、加工事業カンパニー プレジデント、CGO、CSuO を経て 2025 年 4 月より執行役社長 CEO を、同年 6 月より取締役 執行役社長 CEO を務めています。</p> <p>筑波製作所長、加工事業カンパニー開発本部長、同プレジデント等を歴任しており、豊富な現場経験を有しています。また、2025 年 4 月以降は、執行役社長 CEO として当社グループの経営を統括するとともに、抜本的構造改革等の様々な施策を主導しています。取締役会では、このような執行役としての経験も踏まえた視点から意見を述べるなど、取締役会の実効的な議論に貢献しています。</p> <p>これらのことから、当社グループの事業・業務に関する豊富な知識・経験を有するとともに、引き続き取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化への貢献が期待できるため、適任と判断しています。</p> <p>※ CGO … Chief Governance Officer ※ CSuO … Chief Sustainability Officer ※ CEO … Chief Executive Officer</p>

役職	氏名	理由
取締役 執行役常務	平野 華世	<p>当社入社以前には、主に監査法人及び住宅設備メーカーにおいて、監査業務及び経理・財務、IR・SRに関する企画・立案・運用に取り組んだほか、IR、経理・財務関係の組織の長としてのキャリアを重ね、2025年4月より執行役常務 CFO を、同年6月より取締役 執行役常務 CFO を務めています。また、税理士及び米国公認会計士（デラウェア州）の資格を有しています。</p> <p>2024年4月に当社に入社後は経理財務部長として、過去の知見を活用しながら陣頭指揮を執り、配当政策や対外開示方針の取りまとめ、決算時における財務分析の高度化等に取り組みました。2025年4月以降は、執行役常務 CFO として当社グループの経営を担うとともに、資金効率向上、金融政策改善、及び資本市場とのコミュニケーションのさらなる向上等に取り組んでいます。取締役会では、このような執行役としての経験も踏まえた視点から意見を述べるなど、取締役会の実効的な議論に貢献しています。</p> <p>これらのことから、当社グループの事業・業務に関する豊富な知識・経験を有するとともに、引き続き取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化への貢献が期待できるため、適任と判断しています。</p>
取締役 執行役常務	野川 真木子	<p>当社入社以前には、日系企業及び外資系企業において、製造業を含む多様な事業領域で、人事戦略の立案、人事制度企画と運用、人材開発・組織開発全般に従事するとともに、人事責任者としての経験を有しています。また、日本のみならず海外の複数拠点・海外本社を含むグローバルな環境においてキャリアを重ねてきました。</p> <p>当社に入社後は、2021年4月に執行役員 人事部長、2022年4月に執行役常務に就任、2023年4月からは執行役常務 CHRO として、当社グループの HRX 施策をはじめとする人的資本強化施策の推進、人事機能の強化、組織風土改革、社内外広報の活性化、組織構造変革に取り組むなど、当社グループの経営を担っています。</p> <p>これらのことから、当社グループの事業・業務に関する知識・経験を有するとともに、人材・組織運営に関する豊富な見識を備えており、取締役会の適切な監督機能及び意思決定機能の強化に貢献することが期待できるため、適任と判断しています。</p> <p>※ CHRO … Chief Human Resources Officer ※ HRX … Human Resources Transformation</p>